

議案第 1 号資料

令和 4 年度
事業報告書

〔 自 令和 4 年 4 月 1 日 〕
〔 至 令和 5 年 3 月 3 1 日 〕

社会福祉法人 下野市社会福祉協議会

令和4年度社会福祉法人下野市社会福祉協議会事業報告

1. 理事会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
第1回 6月13日(月) (午前9:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	10名	【議案】 (1) 令和3年度下野市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和3年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について (3) 令和4年度下野市社会福祉協議会定時評議員会開催における招集事項について (4) 下野市社会福祉協議会評議員(欠員補充)選任候補者の推薦について (5) 下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員(欠員補充)の選任について (6) 下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会開催における収集事項について 【その他】 (1) 令和3年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について
第2回 1月24日(火) (午前9:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	10名	【議案】 (1) 令和4年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算(案)について (2) 下野市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について (3) 令和4年度第2回評議員会開催における招集事項について 【報告】 (1) 会長の職務の執行状況について
第3回 3月17日(金) (午後1:30～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	11名	【議案】 (1) 令和4年度下野市社会福祉協議会収支2次補正予算(案)について (2) 令和5年度下野市社会福祉協議会事業計画(案)について (3) 令和5年度下野市社会福祉協議会収支予算(案)について (4) 令和4年度第3回評議員会開催における招集事項について 【その他】 (1) 令和5年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について

2. 評議員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
定時（第1回） 6月28日（火） 午前9：30～	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	22名	【議案】 （1）令和3年度下野市社会福祉協議会事業報告について （2）令和3年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について （3）理事（欠員補充）の選任について 【その他】 （1）令和3年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について （2）令和3年度栃木県共同募金会下野市支会寄付金会計並びに事務費会計収支決算について
第2回 書面により決議をとる決議の省略の方法による 【2月1日（水）をもって評議員（現在数）27名全員同意】			【議案】 （1）令和4年度下野市社会福祉協議会収支1次補正予算（案）について
第3回 3月27日（月） （午前9：30～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」大ホール	21名	【議案】 （1）令和4年度下野市社会福祉協議会収支2次補正予算（案）について （2）令和5年度下野市社会福祉協議会事業計画（案）について （3）令和5年度下野市社会福祉協議会収支予算（案）について 【その他】 （1）令和5年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について

3. 評議員選任・解任委員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
7月5日(火) (午前10:00～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	5名	【議案】 (1) 下野市社会福祉協議会評議員(欠員補充)の選任について

4. 監査会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
5月30日(月) (午前10:00～)	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	2名	(1) 令和3年度事務事業の執行について (2) 令和3年度収入支出会計監査について

5. 地域福祉

(1) 地域福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
地区社協の組織整備	地域福祉活動の拠点となる組織整備を図るためにコミュニティ推進協議会を対象に事業説明会を開催した。 また、東方台地地区と姿西部考古台地地区の事業支援を行った。	【事業説明会】 1月5日（木） 栄町コミュニティセンター	参加者 8名 (栄町コミュニティ推進協議会)
		【東方台地地区】 ・国分寺東小学校 ・友愛館	昔遊び交流会 50名 七夕飾り交流会 63名 自主上映会 78名 【69名】
		【姿西部考古台地地区】 ・たんぼぼ館	ペーパーフラワー 7名 石拾い会等 56名 【15名】
災害ボランティアセンターの設置訓練	災害時、迅速に福祉救援活動・ボランティア支援活動を行うことができるよう、市防災訓練（2月）に併せて職員とボランティアによる災害時対応マニュアルに基づいた設置訓練を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったため、災害ボランティア講座（2回目）に合わせ職員も講座へ参加し、災害時対応訓練として炊き出し訓練や災害時備品の確認を行った。	3月4日（土）	社協職員 12名 【一名】

地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和4年度～令和8年度）推進委員会を開催し、進捗状況等についての説明を行った。	7月29日（金） 市庁舎 303・304 会議室	推進委員 17名 【17名】
第7回しもつけ福祉大会	地域住民や福祉関係者等が地域福祉の理解を深め、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すために講演会等を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン形式で講演会、第3期下野市地域福祉活動計画や活動団体の紹介などを行った。 また、社会福祉の発展に貢献された方々の表彰は、第3回理事会（3月17日）の席上にて行った。	2月1日（水）～28日（火） オンライン開催	表彰者 ・感謝状（寄付） 個人1名、団体1団体 【個人1名】 ・会長表彰 個人19名 【個人7名・団体2団体】
一般フリースレーニング事業	一般フリースレーニングとして40歳以上の市内居住者を対象に健康維持のため機械を使ったトレーニングを実施していたが、運動器具の老朽化に伴う安全面を考慮し、令和4年9月末日をもって事業を廃止した。 ・指導者 健康運動指導士（毎週水曜日） ・チケット 3,000円／11枚	月曜日～金曜日 ゆうゆう館 フリースレーニング室 初心者講習：水曜日（要予約）	延べ利用者 500名 新規講習受講者 3名 【929名】 チケット購入者 延べ 44名 【109名】
緊急食料等給付事業	緊急一時的に食料に困窮する市内に居住する方に、必要な食料の給付を行った。	通 年	利用世帯 44世帯 【74世帯】

(2) 高齢者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
ふれあいサロンゆうゆう (市委託事業)	一般介護予防事業としてボランティアの協力を得ながら、健康体操や講話・講座・レクリエーションなどを行い、介護予防に努めながら孤立感や不安感の解消を図った。 引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策として、参加人数を少なくするために開催日を週2日から週3日に変更し、時間の短縮を図りながら実施した。 ・定員 各曜日15名程度	水曜日・木曜日・金曜日 ゆうゆう館 会議室	各曜日46日開催 水曜日14名 延べ472名 【370名】 木曜日16名 延べ606名 【406名】 金曜日16名 延べ621名 【421名】 合計46名 延べ1,699名 【1,197名】
生活支援体制整備事業 (市委託事業)	高齢者が住み慣れた地域で生き生きとした生活を送れるように、健康づくり及び介護予防に必要なサービスを地域で提供できる体制の基盤づくりの支援や、地域ふれあいサロンの支援を行った。 職員：第1層SC1名・第2層SC6名体制 ・第1層協議体・第2層協議体・SC会議の開催 ・広報啓発、事業説明会の開催 ・講演会の開催 ・各種研修会への参加 ・生活実態調査の実施 ・市民主体の有償ボランティア組織への支援	通 年	第1層協議体 年2回 【年1回】 第2層協議体 年33回 【年21回】 SC会議 年40回 【年43回】 事業説明 3回 【5回】 実態調査 2自治会 【2自治会】 講演会 参加者63名

地域ふれあいサロン事業 (市委託事業)	新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、高齢者が地域の中でいきいきとした生活が送れるよう高齢者と地域住民が共に触れ合う場を作り、地域で支え合うという意識の向上と地域保健福祉活動の促進を図るため、サロン活動の支援と助成金の交付を行った。	通 年	<サロン数> 国分寺地区 15サロン 石橋地区 23サロン 南河内地区 21サロン 合 計 59サロン 【62サロン】
------------------------	---	-----	--

(3) 障がい児者福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備 考 ※【 】は3年度実績
障がい児者交流会	心身障がい児者とその家族及び障がい児者団体が民生委員児童委員・ボランティア等の協力を得て、県障害者スポーツ指導者協議会の指導の下ミニゲーム等を通して親睦を図ることを目的に開催した。 【内容】ボッチャ	9月23日(土) 国分寺海洋センター	障がい児者・家族 39名 ボランティア 12名 講師 6名 計 57名 【49名】

就労継続支援B型事業所 なのはな・すみれの運営	一般の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である方々に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練、支援を行った。 【作業内容】 箱折り、ネームタグ、プラスチック部品組み立て、封入作業、緩衝材作製、唐辛子の選別等	なのはな・すみれ事業所	利用者 22名 【20名】
----------------------------	---	-------------	------------------

下野市社協特定相談支援事業所	障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者及び家族等の相談に応じ各種サービスの利用援助・調整を行い、サービス等利用計画の作成等を行った。	なのはな・すみれ事業所	利用者 23名 【20名】
----------------	--	-------------	---------------------

(4) 児童・青少年福祉事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
安全帽子購入助成事業	市内の小学校と義務教育学校の新入学児童を対象に、児童の交通安全・事故防止を目的に学校指定の安全帽子購入費用の一部を助成した。	2月交付 市内小学校・ 義務教育学校	9校 572名 【516名】
福祉活動費助成事業	市内小・中学校、義務教育学校及び高等学校を対象に、福祉への理解と関心を高めるとともに、児童・生徒への福祉活動啓発を目的として、1校あたり50,000円の助成を行った。 (義務教育学校は、100,000円の助成)	年間 市内小・中学校、義務 教育学校、高等学校	13校 【15校】
親子ふれあい事業	親子が協力しあい、イベントを通して福祉を身近に感じることで思いやりの心を育てることを目的に実施した。 ・体験内容 福祉についての話、盲導犬体験(2回実施)	11月12日(土) ゆうゆう館 会議室	参加者 44名 (大人20名、子供24名) 【18名】

登下校時における児童等の地域見守り活動	児童の安全や犯罪防止活動の一環として、通学路等の見守り活動を実施する団体にベスト、助成金を交付し活動の支援を行った。	通 年	15単位老人クラブ その他 4団体 活動人数 249名 【360名】
---------------------	--	-----	---

(5) 福祉教育・啓発

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
ふくし移動講座	福祉の推進を目的として、主に学校を対象に福祉に対する理解や関心を深めるきっかけづくりとして、様々な福祉学習プログラムを提供する移動講座を実施した。 【内 容】 ・視覚障がい者による講話と点字学習 ・聴覚障がい者による講話と手話体験 ・車イス体験 ・高齢者疑似体験	通 年 市内各小学校、義務教育学校、団体	小学校 6校 義務教育学校 1校 団体 1団体 延べ 8回 【7回】
実習生・職場体験学習受入事業	職場体験学習を希望する学生に対し、現場実習の場を提供した。 ・学校名 国際医療福祉大学 1名 (8月16日～9月16日) マロニエ医療福祉専門学校 1名 (5月～11月) 獨協看護専門学校 11名 衛生福祉大学 6名	社協事業 全般 包括支援センター	実習生数 19名 【10名】

(6) ボランティア関連事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
ボランティアセンターの運営	ボランティア活動についての相談受付、活動紹介、情報の提供及びボランティア保険の取扱いを行った。 また、ボランティア活動推進のためのボランティア育成・広報啓発活動を行った。 ・ボランティア活動に関する相談対応件数 46件【38件】 ・上記相談に関しての紹介件数 21件【7件】 ○社協・ボラセン事業に関するボランティア調整、派遣 ・障がい児者交流事業 1名【11名】 ・ふくし移動講座 54名【7名】 ○下野市の事業に関するボランティア調整、派遣 ・障がい児者スポーツ交流会 5名【一名】 ○音訳ボランティア団体の体験講座に準備協力した。	通 年	登録者数 (個人) 38名 【24名】 (団体) 74団体 【73団体】 合 計 1,880名 【1,519名】
ボランティア入門講座	ボランティアに興味のある方を対象に、ボランティア入門講座を開催し、ボランティア活動に役立つ知識と活動への関心を高め、地域でのボランティア活動につながるよう実施した。	12月10日(土) ゆうゆう館会議室	受講者 5名 【一名】

傾聴ボランティア講座 (生涯学習情報センター共催)	相手の気持ちに寄り添い、話しに耳を傾けて心をこめて聴く「傾聴」について、初心者の方を対象に基礎的な知識とコツを学習し、傾聴ボランティア活動へのきっかけ作りとして開催した。	<全6回：毎週月曜日> 6月6日・13日・20日・ 27日 7月4日・11日	受講者 18名 【15名】
なつ・ジュニアふくし体験 学習	子どもたちの福祉に対する関心や理解を高め、ボランティア活動への参加のきっかけ作りとするため、市内の小学4・5・6年生を対象に災害時の備えや地域ふれあい、パラスポーツへの理解として、「非常食作り」「昔遊び体験」「車椅子バスケット」を行った。	【1日目】7月25日(月) ゆうゆう館 調理室・会議室 【2日目】7月26日(火) B&G 体育館	参加者 30名 【32名】
手話講習会(入門コース)	手話に興味のある市民を対象に、聴覚障がいに対する理解とボランティア活動への関心を高め、手話を学習する機会を提供するため講習会を開催した。	<全13回：毎週金曜日> 6月7日～9月20日 ゆうゆう館 ボランティアルーム	受講者 6名 【9名】
災害ボランティア講座	【1回目】災害が起きた時に住み慣れた地域でお互いに支え合い・助け合えるよう、全国の被災地で活躍している方を講師としてお招きし、避難行動や避難所生活についての講座を開催した。 【2回目】災害時に被災者の視点に立って活動できるボランティアの育成を図るとともに、地域で支え合い助け合えるよう災害に備えるべき知識や意識を高めることを目的に「炊出し訓練」「災害時用資材及び使用方法の確認」「災害時における救急法」を行った。	【1回目】 9月3日(土) ゆうゆう館 会議室 【2回目】 3月4日(土) ゆうがお作業所 ゆうゆう館 会議室	受講者 ① 14名 【14名】 ② 24名 ※職員12名含む

ボランティアセンター 広報紙の発行	ボランティアセンターで開催する各種講座の募集や報告、ボランティアに関する情報等を社協だより「ボランティアセンター情報コーナー“きらり”」に掲載し、市民に周知した。	年6回発行 5月・7月・9月・11月・ 1月・3月	各戸配布及び関係機関窓口 16,600部発行 【16,600部】
ボランティア交流会の 開催	下野市ボランティアセンター登録のボランティアが一堂に会し、心身のリフレッシュを行うとともに、自己啓発やボランティア同士のネットワークづくりを行うことを目的に「笑いヨガ」と「情報交換」を行った。	2月27日(月) ゆうゆう館 会議室	参加者 26名

(7) 福祉イベント事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
天平の花まつり招待事業 (下野市観光協会共催)	市内の老人福祉施設・心身障がい児者施設・精神障がい者施設及び障がい者団体を天平の花まつりに招待し、民生委員児童委員の協力によりアトラクション等を予定したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、天平の花まつりが中止となったため、本事業についても中止とした。	4月上旬予定 中止	招待数 一名 【一名】
ふれあいふくし運動会 (下野市共催事業)	老人クラブ連合会・身体障害者福祉会・心身障害児者父母の会等の福祉団体会員及び障がい者施設利用者が参加する運動会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を考慮し、代替事業として「スマイルプロジェクト～みんなの笑顔と心で繋がろう～」を実施した。市内老人クラブ・施設・団体から、令和3年度代替事業で作品を作成していただいた認定こども園、保育所、幼稚園へ手紙のプレゼントを実施した。	10月27日(木) 予定 中止 スマイルプロジェクト 作品配付期間 2月	協力施設・団体 28か所 認定こども園・保育所 幼稚園 12か所

第16回 しもつけふくし フェスタ・2022	市民の地域福祉に対する理解を高め、人と人とのふれあいの場を提供し、温かいまちづくりを目指すため「たすけ愛」をテーマにボランティア活動や社協事業のPR等を新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を考慮し、従来の規模を縮小し開催した。ゆうゆう館内ホールに於いては、ふくし標語コンテストやフードドライブ事業、各種展示・団体PRを行い、屋外では模擬店販売を行った。	11月26日(土) 展示開催期間 11月26日～12月5日	ふくし標語コンテスト 応募者数 29作品 各種展示・PR 32団体 模擬店出店数 15団体
---------------------------	---	-------------------------------------	--

(8) 福祉サービス利用支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
バス利用助成事業	福祉団体の活動及び社会参加を支援するためにバス借上げ費の一部を助成した。 ※借上げ料の2分1(限度額50,000円)	助成件数 6件 【一回】
手押し車の購入助成事業	外出に使用する手押し車購入費の一部を助成した。 ・対象者 おおむね75歳以上で手押し車を必要とする方 ・助成額 購入費の2分の1(限度額5,000円)	利用者 32件 【46件】
福祉用具等貸出事業	新型コロナウイルス感染症感染予防対策の指導を行いながら、本会が所有する福祉用具・備品及びその他イベント用物品の貸出しを行った。 <貸出用具> 車椅子、福祉体験用具、イベント用具、綿あめ機、ポップコーン機等	利用者 車椅子 56件 98台 【31件】 イベント用具等 28件【11件】

(9) 成年後見制度利用支援事業【下野市委託事業】

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
成年後見制度利用支援事業	地域で安心して生活が継続できるよう、権利擁護及び成年後見制度の利用促進を図り、制度利用が必要とされる方への支援体制の充実を目指して、下記の業務を実施した。 ○広報・啓発業務 ・パンフレットを活用し関係者への周知や会議での説明を行った。また、社協だより、市広報紙等への記事掲載や、FMゆうがお出演により市民に向けて周知した。 ・福祉関係者に向けた成年後見制度の活用についての研修会を開催した。また、地域ふれあいサロン等を対象に、出張型のミニ講話会を地域包括支援センターと共催で実施した。 ○相談対応・申立手続き支援業務 ・市民や福祉支援者等から寄せられる成年後見に関する相談に応じた。 ・巡回型の「成年後見制度なんでも相談会」に相談員として参加した。(年7回) ・中核機関設置準備を進め「相談窓口連絡会議」「ケース会議」を開催した。 相談窓口連絡会議：4回 ケース会議開催及び参加：6回 受任候補者の検討会議：1回 後見人等のチーム会議開催：1回 ○地域連携ネットワーク構築のための後見制度利用促進協議会や中核機関設置の準備 ・県アドバイザー派遣による制度利用促進協議会準備会：2回開催（市主催） ・「成年後見サポートセンター」設置（3/1） ・第1回成年後見制度利用促進協議会開催（3/14）	制度に関する相談対応 ・研修会参加者 17名 ・ミニ講話会開催 10回 【7回】 ・新規相談件数 20件 【14件】 ・相談対応件数 延べ167回 【135回】

(10) 法人後見事業の推進

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
法人後見事業の推進	認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分の方、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として後見業務を受任し、財産管理や身上保護を中心とする権利擁護支援に取り組んだ。 ・後見業務（身上保護、財産管理） ケース会議や法人後見運営委員会を経て、家庭裁判所より受任した成年後見人等の業務を実施した。 ・法人後見運営委員会の開催（6月、11月、2月開催） 法人後見を希望するケースが発生した際、運営委員会において受任の可否を判断した。また、被後見人等の支援状況の経過報告等を行った。	・受任数（後見、補助）6名 【5名】 ・対応延べ回数 339回 ・委員会開催 3回 【3回】 ・新規受任の検討 1名 【1名】

(11) 日常生活自立支援事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
日常生活自立支援事業 (あすてらす・しもつけ)	認知症の高齢者や知的・精神障がいにより判断能力が低下し生活に不安のある方に対し、相談援助や契約、福祉サービス利用支援・金銭管理・書類等の預かりサービスを提供した。 ・専門員の配置(2名) ・生活支援員の配置(社協職員5名、登録者9名) ・サービス内容 福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス 1,000円/時間 書類等の預かりサービス 500円/月 ・新規相談件数 10件 ・活動実績 合計 392回 [認知症高齢者等 120回 知的障がい者 182回 精神障がい者 85回 身体障がい者 5回]	利用者数 認知症高齢者等 9名【9名】 知的障がい者 12名【12名】 精神障がい者 4名【4名】 身体障がい者 1名【1名】 合計 26名【26名】

(12) 生活困窮者自立支援事業（くらし応援センターささえーる）【下野市委託事業】

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
自立相談支援事業	生活困窮者の相談に応じ当該生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分確認することを通して、個人の状態にあった支援計画の作成や住居確保給付金申請手続きを行い、関係機関との連携を含めた支援を包括的・継続的に実施した。 また、生活困窮者に対するプラン及び関係機関とのネットワークづくり等を検討するための支援調整会議を開催した。	新規相談受付件数 138件【232件】 相談延べ件数 3,180件【3,395件】 プラン作成件数 37件【5件】 就労者数 35件【17件】 住居確保給付金申請件数 17件【16件】
家計改善支援事業	滞納や多重債務等、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、生活再建を支援した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業で減収した世帯に向けて、緊急小口資金等特例貸付を活用するためのあっせん支援を行った。	新規相談受付件数 61件【125件】 相談延べ件数 1,643件【2,656件】 プラン作成件数 20件【4件】

就労準備支援事業	生活に困窮しており複合的な課題を持つなどの理由により直ちに就労することが困難な方に対して、就労の準備としての基礎能力の形成を行いハローワーク等と連携し、就労支援を行った。 ・プログラム種類 履歴書の作成、パソコン講座（ビジネス文書検定）、ビジネス用語一般常識講座、自己分析（マイマップづくり）、農業体験ボランティア等	新規相談受付人数	11件
		相談延べ件数	432件
		プログラム実施回数	185回
		プログラム種類	23種

(13) 相談事業

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考 ※【 】は3年度実績
心配ごと相談所事業	新型コロナウイルス感染症感染予防対策を行いながら、市民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言を行った。 ・相談員 民生委員児童委員、主任児童委員、人権擁護委員、行政相談委員 ・時間 午後1時30分～3時30分 ※子育て相談を、主任児童委員が年3回開催した。	毎月第1・3火曜日 ゆうゆう館 相談室	36件 【39件】
無料法律相談事業 (下野市委託事業)	新型コロナウイルス感染症感染予防対策を行いながら、弁護士による無料法律相談（予約制）を実施した。 ・相談員 栃木県弁護士会より派遣 ・時間 午後1時30分～4時00分	毎月第2・4火曜日 ゆうゆう館 相談室	163件 【158件】

(14) 資金貸付事業

事業名	事業の概要等	備考 ※【 】は3年度実績
小口資金貸付事業	低所得者及び生活困窮者の市民に対して、生活費等の必要な資金を貸付けることにより経済的自立及び生活意欲の向上を図るため、30,000円（無利子）を限度に貸付を行った。	相談件数 8件【6件】 貸付数 6件【6件】
生活福祉資金貸付事業 (県社協委託事業)	低所得者・障がい者・高齢者・生活困窮者・避難世帯等を対象に資金の貸付と民生委員児童委員による必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の向上を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業で減収した世帯に向けて、緊急小口資金等特例貸付を行った。 ・資金の種類「総合支援資金」「福祉資金」「緊急小口資金」「教育支援資金」「特例貸付」	相談件数 102件【348件】 貸付数 45件【299件】
行旅人援護事業	行旅人に対し援護費の支給を行った。 ・支給額 小山駅または宇都宮駅までの鉄道運賃額	支給件数 3件 【4件】

(15) 会員募集

事業名	事業の概要等	期 日	備考 ※【 】は3年度実績
社協会員募集	市民の福祉ニーズに応え、地域福祉の向上と事業推進を図るため、自治会・事業所等の協力を得て会員募集を行った。 ・会費の種類 ＜普通会員＞ 12,888,600円 【12,887,400円】 ＜特別会員＞ 722,000円 【727,000円】 合 計 13,610,600円 【13,614,400円】 ・普通会員加入率 約83.4% 【約84.1%】	募集活動期間 5月～7月 (受付は通年)	・普通会員 戸別 12,989件 法人 3件 【12,718件】 ・特別会員 法人事業所 163件 個人 2件 【172件】

(16) 広報活動

事業名	事業の概要等	期 日	備 考 ※(発行、件数等)
広報紙の発行	市民に向けて社会福祉事業に関する情報等を提供し、社会福祉協議会に対する理解を図るため、広報紙「しもつけ社協だより」を発行した。	年6回発行 5月、7月、9月、 11月、1月、3月	各戸配布及び関係機関窓口 (16,600部発行)
ホームページ活用(インターネット情報発信)	本会ホームページを活用し、事業PRや本会運営に関することなど、インターネットを通じて迅速な情報発信を行った。	通 年	情報更新回数 39回 【45回】
YouTube(ユーチューブ)チャンネル	動画配信を通じて広く市民に本会の活動について周知するためYouTube(ユーチューブ)の「しもつけ社協チャンネル」において、情報発信を行った。	通 年	動画投稿件数 14件 【6件】
Instagramでの発信	より幅広い層に本会の活動を周知することを目的とし、Instagram(インスタグラム)アカウントを開設し情報発信を行った。	通年 11月から	投稿件数 24件
FMゆうがの出演	FMゆうがお「しもつけピタっとラジオ」内に「下野市社協コーナー」を設け、出演または情報提供を行い、各種事業のPRに努めた。	毎月1回程度	出演回数 9件 情報提供 2件
報道機関の活用(PR)	各新聞社、ケーブルテレビ等の報道機関を活用し、本会活動PRのため情報発信を行い積極的にアピールした。 4月: ゆうゆう館レストラン業者募集【下野新聞】 7月: フードドライブ【下野新聞・読売新聞】 ゆうゆう館レストラン運営事業者募集【下野新聞】 なつ☆ジュニアふくし体験学習 【読売新聞・ケーブルテレビ・NHKNewsWeb】 11月: しもつけ社協チャンネル【下野新聞】 しもつけふくしフェスタ2022【下野新聞】 ヨガ等教室参加者募集【下野新聞】 1月: 生活支援体制整備事業講演会【下野新聞】	通 年	4社 14回掲載・出演 【1社 3回掲載・出演】

	2月：しもつけ福祉大会【下野新聞・ケーブルテレビ】 3月：トルコ・シリア救援金【下野新聞】 ：子育て世帯応援！お米配布会【下野新聞】		
--	--	--	--

(17) 共同募金事業

事業名	事業の概要等	期 日	備 考 ※【 】は3年度実績
共同募金運動の実施	市民を対象に一世帯あたりの募金目安額を800円とした募金活動と、法人・学校・職域・赤い羽根自販機募金等を実施した。 また、市内事業所に募金箱設置の協力を依頼した。 なお、街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ・募金合計 <u>11,370,078円</u> 【11,599,288円】	10～12月	法人 154社 【163社】 戸別 13,502戸 【13,195戸】 職域募金・学校募金等 39件 【37件】 法人募金設置個所 7店舗 【6店舗】
歳末たすけあい配分事業	市内在住の73歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に各地区民生委員児童委員の協力により歳末見舞品を配布した。 (おせち・お餅・カイロ)	12月	ひとり暮らし高齢者 国分寺地区 357名【366名】 石橋地区 393名【423名】 南河内地区 256名【269名】 合 計 1,006名 【1,058名】
赤い羽根はぁと事業(生理用品無償配布事業)	新型コロナウイルス感染症の影響や経済的理由等で生理用品を手することが困難な女性を対象に生理用品を無料で配布し、「生理の貧困」の軽減を図った。	10月～3月	市内小中学校 5校 【15校】 市内7か所 70セット 【37セット】

フードドライブ事業	地域の中での支え合いの活動を広げることを目的に家庭などで眠っている食料品等をご寄付いただき、支援を必要としている世帯や団体などを対象に配布した。	通 年	寄付数 米 8 3 0 kg 【 5 3 5 kg 】 食料品 1, 0 5 6 点 【 6 9 4 点 】 配布会実施回数 3 回 【 1 回 】 配布者数 2 5 2 世帯 【 7 4 世帯 】
災害見舞金の配分	市民が火災等の非常災害を受けた際に、その被災世帯に対する見舞金・弔慰金の配分を行っている。	通 年	3 世帯 【 2 世帯 】

(18) 日赤事業

事業名	事業の概要等	期 日	備 考 ※【 】は3年度実績
日赤社資募集	市民を対象に一世帯あたりの目安額を500円とし、赤十字活動資金の募集を行った。 合計 6, 5 4 3, 8 3 0 円 【 6, 5 6 9, 6 5 0 円 】	5 月 ～ 6 月	1 3, 1 9 8 件 【 1 3, 1 8 9 件 】
災害救援物資の配分等	市民が主に火災などで被害を受けた際の救援物資の配分及び弔慰金の支給を行っている。	通 年	2 世帯 【 1 世帯 】

(19) 福祉団体の支援

下記団体が実施する活動に対して、助成金を交付し事務事業の支援を行った。

①事務局および助成金交付団体（合計1, 260, 000円）

団 体 名	助成額	主な事務・事業支援内容
下野市ボランティア連絡協議会	350, 000円	活動者相互の交流や情報交換の場の提供、各種事業の開催を通してボランティア活動の推進が図れるよう支援を行った。
下野市老人クラブ連合会	300, 000円	会員の福祉向上と相互の親睦、資質の向上を図る事を目的とし、社会奉仕・スポーツ大会・老人クラブ大会・福祉のつどい・研修会等の活動を行い諸団体との交流が図れるよう支援を行った。

下野市身体障害者福祉会	260,000円	障がい者の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図るため支援を行った。
下野市心身障害児者父母の会	100,000円	心身障がい児者の福祉の向上を図る事を目的とし、各種活動を通じ諸団体との交流が図れるよう支援を行った。
下野市ひとり親家庭福祉会	50,000円	ひとり親家庭世帯の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図るため支援を行った。
下野市遺族会	200,000円	英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉向上と会員相互の親睦を図る為、追悼式・慰霊祭、各種研修会等の支援を行った。

②助成金交付団体（合計 870,000円）

- 自治会長連絡協議会 (助成額 100,000円)
- 子ども会育成会連絡協議会 (助成額 100,000円)
- 民生委員児童委員協議会 (助成額 300,000円)
- おもちゃの図書館 (助成額 120,000円)
- 人権擁護委員会 (助成額 50,000円)
- 特別支援学校合同研究会 (助成額 200,000円)
- レクリエーション教室 (助成額 300,000円)

6. 在宅介護サービス事業

(1) 居宅介護支援事業【介護保険事業】

- ・日常生活を営むために必要な居宅サービスが利用できるように、サービス計画の作成をサービス提供に関係する事業者等と連絡調整しプラン作成に取り組んだ。

① ケアプラン作成

※【 】は3年度実績

事業所名	介護支援 専門員数	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプランセンター 下野市社協	常勤3名	90	89	97	96	95	92	92	93	89	84	78	80	1,075名 【1,148名】

② ケアプラン介護区分別作成人数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
443	269	158	121	84	1,075名

③ 予防プラン作成人数

※【 】は3年度実績

利用者人数(月別)												合計
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
17	17	15	15	15	15	14	16	15	15	15	13	182名【214名】

(2) 通所介護事業【介護保険事業】

・介護予防や要介護認定を受けた方に対し、入浴サービス・食事・生活相談等の支援を行った。

※【 】は3年度実績

事業所名	介護区分	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
下野市社協 デイサービス センターのぞみ	事業対象者	9	6	6	7	3	7	3	4	3	4	4	2	58
	要支援1	3	3	3	3	3	3	5	4	6	5	5	5	48
	要支援2	7	7	10	9	10	13	13	13	12	12	12	14	132
	要介護1	17	15	16	14	15	14	12	12	12	12	10	11	160
	要介護2	8	9	9	9	11	10	8	7	8	8	7	8	102
	要介護3	2	2	2	1	0	1	1	3	2	2	5	3	24
	要介護4	2	1	6	4	5	5	4	7	4	4	3	1	46
	要介護5	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	5
	合計	48	43	52	47	47	54	47	51	47	47	47	45	575名 【612名】

(3) 地域包括支援センターの運営【下野市委託事業】

- ・在宅で介護を必要とする方やその介護者等に対し、介護予防サービス計画の作成及び在宅介護に関する総合相談、助言並びに関係機関との連絡調整を行った。

①月別件数

事業 所名	内 容	利 用 者 人 数 (月別)												小計	合 計 【 】は3年度実績
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
地域包 括支援 センタ ー	予防プラン作成 件数	80	82	82	84	86	84	91	94	90	94	94	97	1,058	1,742名 【1,625名】
	介護予防・日常 生活支援事業 チェックリスト該当者	57	57	57	55	52	61	59	57	58	56	56	59	684	

②主な相談内容

		相 談 内 容										合 計 【 】は3年度実績
内 容	介護予防	身体・生活 全般	社会資 源連携	介護保険	行政福 祉サー ビス	認知 症・精神 疾患	権利 擁護	CM相 談・支援	経済	医療 連携	その他	10,086名 【11,189名】
件 数	2,981	3,166	109	2,239	203	457	197	245	77	72	340	

③健康教育事業の開催

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は3年度実績
独居高齢者・老人クラブ・希望者等	栄養、口腔、ストレッチ、認知症サポーター養成講座等、介護予防の一環として、地域に出向き、健康教室を年74回開催した。	ゆうゆう館、国分寺公民館、ポッポ館、友愛館、国分寺中央コミセン、川北集落研修センター、姿西部考古台地コミセン、東方台地コミセン、各自治会公民館、有料老人ホーム新、国分寺図書館	延べ 901名 【555名】

④元気はつらつ体操事業

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は3年度実績
希望者等	地域住民が主体となって運動を継続できる組織作りを支援するための体操指導を年5回開催した。	市役所、国分寺公民館、友愛館 姿西部考古台地コミセン	延べ 90名 【130名】

⑤ほっと介護教室（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は3年度実績
高齢者を在宅で介護している家族	交流会に参加することにより、介護から一時的に解放され、身体的・精神的リフレッシュを図る目的で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中 止	延べ 一名 【一名】

⑥家族介護交流会（3センター合同開催）

対 象 者	内 容	会 場	参加者人数 ※【 】は3年度実績
介護に興味のある方	高齢者の健康や介護、消費者被害に関することなどの勉強会を行い、将来の介護や健康についての教室を開催した。	石橋公民館	延べ 15名 【37名】

7. 収益事業

事 業 名	事 業 概 要 ※【 】は3年度実績
天平の花まつり旗の販売	市内外企業等に協力依頼し天平の花まつり奉納用のぼり旗の販売を行っているが、天平の花まつりが新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となったため販売を中止とした。 価 格 8,800円/本 販売額 — 円 — 本 【一本 一円】

8. ゆうゆう館指定管理業務

事 業 名	業 務 の 概 要	内 容 ※【 】は3年度実績
「ゆうゆう館」指定管理 事業	市民の保健の向上及び福祉の増進を図り、保健サービスおよび福祉サービスを推進し、施設の効率的かつ効果的な管理運営を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、館内におけるソーシャルディスタンスの確保やサウナの利用人数制限等の対策を講じながら運営した。自主事業としてはレストランの運営事業者を決定し、9月にオープンするとともに、ヨガ等の教室を10月から実施し利用者の増加に努めた。また、ホームページの改善やタイムリーな更新に努め、情報発信の充実に努めた。 ○入浴施設等の利用状況 ・天平の湯入館者数 115,262人【77,755人】 ・利用料収入 27,126,660円【16,377,350円】 ○ヨガ等教室参加者 514名【一名】

9. 運営の向上

事業名	業務の概要	内容
社協事業の経営分析等の推進	自主事業等を中心に経営状況の分析と職員の経営に関する啓発を図りながら、事業の検討・見直しなどを行う。	・会計事務所等から経営的な視点にもとづくアドバイスを受け自立し経営の安定・向上に取り組んだ。 ・社協事業全般に亘る事業シートを作成し、重点事業を中心に課題の洗い出しを行い、各種事業内容の改善に取り組んだ。 ・通所介護事業、就労継続支援B型事業所は、利用制限を取らず新型コロナウイルス感染症感染対策を行いサービス提供に努め経営安定に取り組んだ。 ・指定管理業務については、レストランの運営やヨガ等の教室の実施など、新たな自主事業を取り入れ利用者の増加に努めた。また、不必要な個所の消灯やエアコンの設定温度の徹底など節電対策を行い経費削減に取り組んだ。